

第 224 回 東京都済生会中央病院治験審査委員会 会議の記録の概要

開催日時：平成 29 年 9 月 19 日（火）17 時 30 分～18 時 00 分

開催場所：東京都済生会中央病院 新棟第 2 会議室

出席者：仁王進太郎 清水淳一 中村守男 窓岩清治 廣瀬茂道 遠藤高志 矢嶋康子
信清真千子 近藤裕子 錫田洋子 岡本多喜子 金子正志

議題及び審議結果を含む主な議論の概要

<審議事項>

1. 株式会社 JIMRO の依頼による高血圧疾患に対する PRDS-001 検証試験
新規治験の実施の可否について審議を行った。治験責任医師より治験の概要説明があり、その後事前に各委員より指摘された事項についての回答がなされた。
審議の結果、シヤム群の妥当性について当院倫理審査委員会の意見を求め、実施の可否について決定することとした。
2. サノフィ株式会社の依頼による急性冠症候群を発症した高コレステロール血症の患者を対象とした Alirocumab の第Ⅲ相試験
治験依頼者より安全性情報等に関する報告書が提出され、審議の結果、治験を継続することが承認された。
3. バイエル薬品株式会社の依頼による下肢血行再建術施行後の症候性末梢動脈疾患患者を対象とした重大な血栓性血管イベントの発現リスクの低減におけるリバーロキサバンの有効性及び安全性を検討する国際共同、多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照第Ⅲ相試験（VOYAGER PAD）
治験依頼者より安全性情報等に関する報告書が提出され、審議の結果、治験を継続することが承認された。
4. 浅大腿動脈及び近位膝窩動脈病変の治療における BSJ011R と標準的なバルーン血管形成術を比較するランダム化試験
治験依頼者より安全性情報等に関する報告書が提出され、審議の結果、治験を継続することが承認された。
治験依頼者より治験に関する変更申請書が提出され、審議の結果、治験の変更が承認された。

<報告事項>

1. バイエル薬品株式会社の依頼による下肢血行再建術施行後の症候性末梢動脈疾患患者を対象とした重大な血栓性血管イベントの発現リスクの低減におけるリバーロキサバンの有効性及び安全性を検討する国際共同、多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照第Ⅲ相試験（VOYAGER PAD）
治験実施計画書別紙の変更が報告された。
2. ファイザー株式会社の依頼による成人の慢性腰痛症患者を対象とした Tanezumab の第 3 相試験
治験実施計画書別紙の変更が報告された。
3. ファイザー株式会社の依頼による日本人成人の慢性腰痛症患者を対象とした Tanezumab の第 3 相試験
治験実施計画書別紙の変更が報告された。

4. エーザイ株式会社の依頼による早期アルツハイマー病患者を対象とした E2609 の第Ⅲ相試験
治験実施計画書別紙及び治験参加カードの変更が報告された。
同意説明文書について、前回修正の指示があった点について修正がなされ、変更が承認されたことが報告された。